

経済産業大臣 赤沢 亮正 様

**異常な灯油高による消費者負担の軽減
を求める緊急要請書**

令和8年10月

**北海道消費者協会
57地域消費者協会**

2026年10月14日

異常な灯油高による消費者負担の軽減を求める緊急要請

北海道消費者協会は道内各地域の消費者協会とともに、全道灯油価格調査に取り組んでいます。独自調査を始めて54年目のこの冬は、道民がかつてない不安に襲われています。中東、ウクライナをめぐる国際情勢の悪化により今年5月には1リットル148円と過去最悪の高値となり、本格需要期に入った10月には157円台というすさまじい高騰です。厳冬期の灯油消費が国内で突出して多い北海道の家庭で、安心して暖がとれるかが心配される非常事態です。

灯油需要期である毎年10月～翌年3月の冬期6カ月間の価格動向を私たちの調査データでみると、2008年リーマンショック以来の高値となった24年冬期の6カ月平均は1リットル125.4円、25年冬期は127.1円で、1リットル当たりの値上がり額は1.7円でした。これからの26年冬期は今後160円に達したと仮定すると、25年冬期比で33円高と桁違いの出費となります。

私たちが5年前に行った「北海道家庭用エネルギー消費実態調査」では、1世帯当たりの年間灯油消費量は1466リットルで、このうち8割を冬の6カ月間に使用します。この算式を当てはめると、1世帯当たりの負担増が25年冬では前冬比約2千円だったところ、今冬（26年冬）は同約3万8千円超と19倍に跳ね上がります。

総務省家計調査によると、2025年12月～26年2月に北海道の世帯が支出した灯油代は全国平均の約5倍でした（2人以上世帯、ただし薪を含む）。この冬は少し前のガソリンさえも上回る異常に高い灯油を焚く生活です。ガソリンなら自家用車の使用を控えることもできますが、暖房用灯油は一定量の消費が避けられません。民間調査では食品で2万品目を超える値上げが見込まれるという今年の物価高の中で、特に低所得世帯は衣食費のさらなる圧縮を迫られます。

来年4月からの消費税減税をめぐる国会審議が始まりましたが、北国の生活者の健康と命を守る灯油高対策は待ったなしです。これまでの弱者対策に加え一般の低所得世帯にも手を差し伸べるような灯油高対策について、特段の配慮がなされるよう強く要請します。

記

1. 本年3月から実施された国の石油製品の緊急的減税緩和措置においては、灯油についてもガソリンと同額の補助となりましたが、北国の冬の「命綱」ともいえる灯油について一層手厚くした上で、現在の価格抑制措置を継続すること。

2. 高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯などへの灯油等の購入費を補助している「福祉灯油」事業について、所得基準の緩和などにより、制度の谷間にある生活困窮層にも対象を拡大できるよう不断の見直しを図ること。

3. 国の物価高対策の重点支援地方交付金では、低所得世帯、高齢者世帯の灯油購入費補助がメニュー化されているが、北海道においては道民ポイントやLPガス使用料の値引き支援にとどまり、灯油の生活者支援には使われていない。今冬の異常な高値に鑑み灯油購入費補助にも活用するよう、政府としても地方自治体への働きかけを行うこと。

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 長島 博子

<正会員 以下57消費者協会>

江別消費者協会	富良野消費者協会	清水消費者協会
千歳消費者協会	東神楽消費者協会	芽室消費者協会
恵庭消費者協会	東川消費者協会	大樹消費者協会
北広島消費者協会	上富良野消費者協会	中札内消費者協会
NPO 法人函館消費者協会	下川消費者協会	幕別町消費者協会
小樽消費者協会	美深消費者協会	池田消費者協会
俱知安消費者協会	留萌消費者協会	足寄消費者協会
岩内消費者協会	一般社団法人北見消費者協会	浦幌消費者協会
岩見沢消費者協会	網走消費者協会	釧路消費者協会
美唄消費者協会	美幌消費者協会	釧路町消費者協会
赤平消費者協会	斜里消費者協会	厚岸消費者協会
三笠消費者協会	雄武町消費者協会	浜中消費者協会
滝川消費者協会	室蘭消費者協会	標茶消費者協会
深川消費者協会	苫小牧消費者協会	阿寒消費者協会
上砂川消費者協会	登別消費者協会	白糠消費者協会
栗山消費者協会	伊達消費者協会	鶴居村消費者協会
一般社団法人旭川消費者協会	浦河消費者協会	根室消費者協会
士別消費者協会	一般社団法人帯広消費者協会	別海町消費者協会
名寄消費者協会	音更町消費者協会	中標津町消費者協会